

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 23 No. 2 (通巻 57 号)

2012 年 2 月 10 日

～第 16 期ごあいさつ号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 関英昭

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階

J C 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局

TEL: 03-6280-7254 FAX: 03-3268-8761

E-mail: kyodo-gakkai (アットマーク) jc-so-ken.or.jp ホームページ: <http://coopstudies.jp>

第 16 期会長ごあいさつ

関 英昭 (青山学院大学法学部)

2011 年は、東日本大震災に加えて東京電力福島原発の爆発事故があり、わが国にとっては形容しがたい残酷かつ悲惨な年でありました。我々は、2011 年を決して忘れることができないでしょうし、決して忘れてはならないとも考えます。私は、その 2011 年の 10 月に、神戸大学で開催された日本協同組合学会総会において、第 16 期会長に選出されました。福島原発事故で飛散した放射線汚染の前で、しばらくの間放心状態 (思考停止状態) にありましたので、会長として何ができるか、何をしなければならぬかを考える精神的余裕はありませんでした。

2012 年は、奇しくも国連が決議した国際協同組合年です。日本国にとって、これは何とも皮肉な巡り合わせであることか、という思いがします。つまり、日本協同組合学会は、2011 年の日本の有り様からどのように立ち直ることができるか、それを考えるべく宿題を負わされた、と考えます。放心状態から目を覚まし、何ができるか、何をしなければいけないか、それを真剣に考えていきたいと思っています。日本国の試練は、放射能汚染から、国民の安全を如何にして守るか、にあると考えます。日本協同組合学会は、この試練に対して協同組合が果たし得る役割は何かを議論しながら、日本国民と一緒に考えていきたいと思っています。世界規模のグローバル化旋風の中で、各個人は生命、食料、環境、老後の豊かさ、エネルギー確保、地域社会の在り方と発展等々の問題を抱えています。日本協同組合学会は、他の志を同じくする団体と相協力して、これらの問題解決に取り組んでいきたいと思っています。会員の皆様のご協力をお願いします。

●常任理事の役割分担は下記の通りです

会長	関 英昭 (青山学院大学)
副会長 (組織企画委員長・国際担当)	柳沢 敏勝 (明治大学)
副会長 (編集担当)	志波 早苗 (パルシステム生活協同組合連合会)
副会長 (庶務・会計・広報担当)	藤木 千草 (ワーカーズコレクティブ・ネットワーク・ジャパン)
組織企画委員 (研究大会 学会賞)・会員拡大対策委員長	小山 良太 (福島大学)
会員拡大対策委員	若松 仁嗣 (全国共済農業協同組合連合会)
国際委員長	北島 健一 (立教大学)
国際委員	杉林 剛 (全国農協中央会)
編集委員長	大高 研道 (聖学院大学)
編集副委員長	松本 典子 (駒澤大学)
編集委員	清水 (磯田) みゆき (日本大学)
編集委員	栗原 修 (財団法人東京水産振興会)
編集委員	近本 聡子 (公益財団法人人生協総合研究所)
庶務・会計・広報委員長	松岡 公明 (JC 総研)
庶務・会計・広報委員	管 剛史 (協同総合研究所)

2011 年度事業計画 (2011 年 9 月 1 日～2012 年 8 月 31 日)

2011 年 10 月 15 日の会員総会で次の事業計画と予算が承認されました。

1. 理事会・常任理事会の開催等について
理事会ならびに常任理事会を定期的で開催して協議をおこない、学会の円滑な運営に努める。
2. 広報活動の強化
ニューズレターを随時発行し、会員への情報提供に努める。ホームページを適宜更新し、本学会に関する情報を広く提供する。
3. 第 31 回大会の開催について
開催日 2010 年 10 月 14 日 (金) ～16 日 (日)
会場 神戸大学農学部 (神戸市灘区)
共通論題 「東日本大震災・原発事故からの復興 ―協同組合は何を提言できるか」
座長：冬木 勝仁 会員
地域シンポジウム 「協同組合の地域貢献」(座長：小野 雅之 会員)
個別論題報告／エクスカッション グランメール 賀川記念館
4. 2012 年国際協同組年年への学会としての対応について
学会として重要なテーマとして位置づける。協同組合憲章の作成に貢献する。
5. 第 31 回春季研究大会準備
開催日、会場、共通論題未定
6. 第 32 回大会の準備について
開催日、会場、共通論題未定
7. 研究活動の促進について
 - ①「新協同組合理論研究会」を年 1 回以上開催する。
これを会員だけではなく、非会員にも広く公開する。若手研究者の育成のため、彼らに研究発表の機会を提供する。開催案内をホームページ、メーリングリスト等で行う。
 - ②地方研究会の開催も積極的にすすめる。
 - ③他学会や研究会等との連携について、必要な取り組みをすすめる。
8. 「協同組合研究」の刊行等について
「協同組合研究」の刊行
第 31 巻第 1 号：2012 年 2 月刊行予定
第 31 巻第 2 号：2012 年 6 月刊行予定
第 31 巻第 3 号：2012 年 10 月刊行予定
投稿の奨励・編集体制の充実
9. 国際交流について
 - ①韓国協同組合学会との交流を継続・発展させる。
韓国協同組合学会への会員の派遣および日本協同組合学会大会への招聘を行う。
 - ②中国社会科学院との交流を継続・発展させる。
中国社会科学院との研究交流を深めるとともに、日本協同組合学会大会への案内状等を送る。
さらに「協同組合研究」を送付する。
10. 2011 年度学会賞の選考について
新たに実践賞を設ける。候補作品の推薦を募る。
11. 学会事務局の移転について
全国農協中央会から J C 総研に移転する。
12. 会員拡大・会費未納者の解消について
学会の組織および財政基盤の強化をはかるため、会員拡大の努力を続けるとともに会費未納者の解消に努める。
13. 帰国留学生の学会会費割引制度、大震災被災者の会費免除措置の特例について
震災被災者、日本から海外に帰国した会員について、本人からの申請に基づき、会長が事情を考慮し、会費を免除あるいは減額する措置を講じる。

日本協同組合学会 2011年度収支予算書

(2011年9月1日～2012年8月31日)

収入の部				(単位：円)
勘定科目	2010 年度予算額	2011年度予算額	進捗状況	備 考
会費収入	4,175,500	4,225,500	101.2	
普通会員	2,448,000	2,448,000	100.0	6000円×480人×85%
学生会員	127,500	127,500	100.0	3000円×50名×85%
賛助会員	1,400,000	1,350,000	96.4	41団体 (←43団体)
過年度分	200,000	300,000	150.0	2010年度未納分
事業収入	350,000	300,000	85.7	
機関誌収入	250,000	250,000	100.0	機関誌購読料・バックナンバー代金
広告料収入	50,000	20,000	40.0	
報告要旨集収入	50,000	30,000	60.0	報告要旨集代金
補助金	0	0	-	科学研究費補助金*
雑収入	300,000	300,000	100.0	大会残余金等
収入合計	4,825,500	4,825,500	100.0	
支出の部				
勘定科目	2010年度予算額	2011年度予算額	進捗状況	備 考
事業費	3,300,000	3,350,000	101.5	
大会関係費	580,000	580,000	100.0	
学会本部支出	180,000	180,000	100.0	報告要旨集
実行委員会交付	400,000	400,000	100.0	神戸大学交付金
研究大会関係費	230,000	230,000	100.0	
学会本部支出	80,000	80,000	100.0	報告要旨集
実行委員会交付	150,000	150,000	100.0	
研究会補助	40,000	40,000	100.0	新理論研究会
学会賞	50,000	100,000	200.0	
機関誌発行費	2,250,000	2,250,000	100.0	学会誌発行費
機関誌印刷費	1,200,000	1,200,000	100.0	
機関誌発送費	250,000	250,000	100.0	編集費、テープ起こし費
機関誌編集費	800,000	800,000	100.0	
国際交流費	150,000	150,000	100.0	
事務費	1,075,500	875,500	81.4	
印刷費	200,000	200,000	100.0	ニュースレター・封筒印刷等
通信費	400,000	400,000	100.0	会費請求・ニュースレター発送等
会議費	40,000	40,000	100.0	
旅費・交通費	400,000	200,000	50.0	常任理事旅費等
雑費	35,500	35,500	100.0	事務経費・振込手数料等
業務委託費	300,000	300,000	100.0	J A全中から J C総研へ事務局移管
日本学会会議関係費	0	0	-	
名簿作成費	0	300,000	-	
予備費	150,000	0	0.0	
支出合計	4,825,500	4,825,500	100.0	
当年度収支差額 (A)	0	0		
前年度繰越金 (B)	3,928,613	3,487,731	88.8	
次年度繰越金 (A+B)	3,928,613	3,487,731	88.8	

★これからの活動日程

■新理論研究会

テーマ：韓国の協同組合基本法の検討（予定）

開催日：4月21日（土）午後

会場：明治大学（予定）

■春の研究大会

テーマ：TPP問題と協同組合～TPPは協同組合にどのようなインパクトを与えるか（予定）

座長：関英昭（青山学院大学）

開催日：5月26日（土）

開催場所：日本生活協同組合連合会会議室

★2011年度学会賞の推薦をお願いします

推薦期間：2012年2月から2012年6月30日（土）までの5ヶ月間。

推薦対象：2012年5月末までの3年5ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。

推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または著者代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦をする場合には、学会事務局（JC総研）に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

*尚、新設された実践賞については次回のニュースレターやホームページで詳細をお知らせします。

★第32回大会の開催予定

秋の大会は福井県立大学で下記の日程で開催される予定です。実行委員長は北川太一理事です。

9月28日（金）：18時～20時 学会理事会（福井駅周辺）

9月29日（土）：大会シンポジウム・総会（県大福井キャンパス）

懇親会（福井駅周辺）

9月30日（日）：午前：個別研究報告（県大福井キャンパス）

午後：地域シンポジウム（県大福井キャンパス）

10月1日（月）：8時30分～14時頃 エクスカーション（福井市内、永平寺など）

★会員メーリングリストへの登録のおさそい

当学会では、会員どうしの情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。現在、約130名の方が登録されています。メーリングリストへの登録をご希望の方は kyodo-gakkai（アットマーク）jc-so-ken.or.jp へご連絡ください。

★名簿作成にあたって

今年度は名簿を作成する年となっています。変更等のある方は事務局までご連絡ください。

